

## 社会資本総合整備計画(事後評価書)

◆計画の名称： 苫小牧港西港区における市民や観光客が賑わう環境の形成

◆計画の期間： 平成22年度～平成24年度 3年間

◆交付対象： 苫小牧港管理組合

◆計画の目標： 苫小牧港西港区において岸壁の建設・改良及び緑地を整備することにより安全を確保し、市民や観光客が賑わう環境を整備する。

◆計画の成果目標：

○苫小牧港西港区第3船溜の係船岸充足率を45%から66%に増加する。

○苫小牧港西港区北ふ頭緑地における来園者数を23,300人(過去5ヵ年平均値)を28,200人へ1.2倍増加する。

○苫小牧港西港区における賑わいのある面積を80,800㎡から140,900㎡へ1.7倍増加する。

○苫小牧港における港湾施設の長寿命化計画を平成24年までに15件策定する。

◆交付金対象事業：

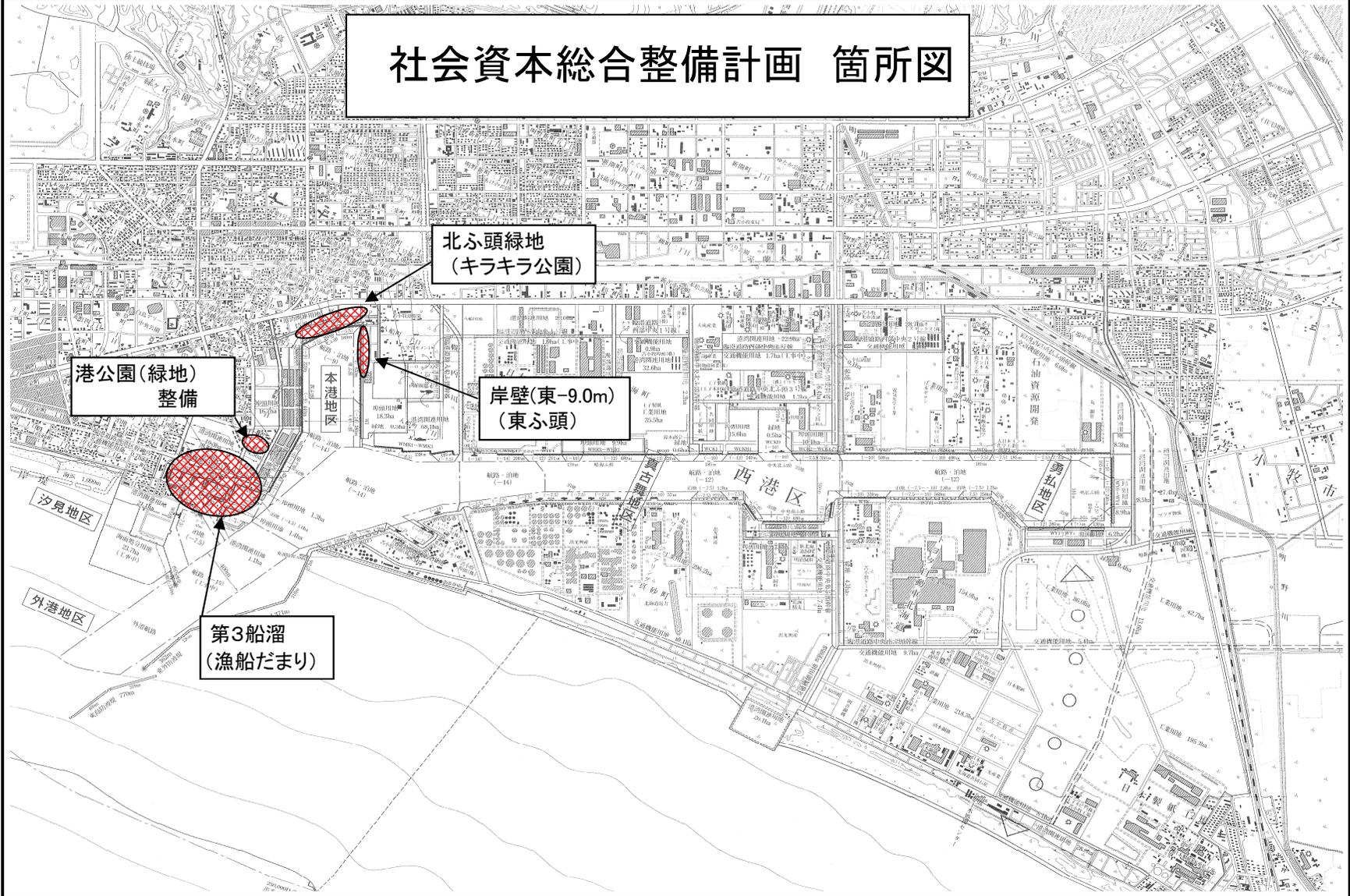
事業名	事業内容	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業 (百万円)
			H22	H23	H24	H25	H26	
第3船溜の整備(漁船だまり)	岸壁、泊地、道路の整備	苫小牧港・西港区	■	■				442
岸壁(東-9.0m)の改良(東ふ頭)	防舷材、エプロンの改良	苫小牧港・西港区	■	■				143
北ふ頭緑地の整備(キラキラ公園)	緑地整備	苫小牧港・西港区	■	■				203
港公園(緑地)整備	トイレ・通路の整備	苫小牧港・西港区			■			20
苫小牧港長寿命化計画の策定(港湾施設の長寿命化)	長寿命化計画策定15件	苫小牧港		■	■			15
合計(港湾事業)								823

◆事後評価：

1.計画の成果目標に関連する 交付金対象事業の効果発現状況	・苦小牧港西港区の第3船溜を整備したことにより、現状係船岸充足率45%が66%となり、多層係留が改善され効率的な漁業活動が図られた。				
	・苦小牧港西港区の北ふ頭緑地の整備により、賑わい空間が創出され、大幅に利用者が増加した。				
	・苦小牧港西港区の緑地整備等により、賑わい空間が創出され、港で憩う人が増加した。				
	・苦小牧港の維持管理計画が策定され、適正に維持管理を行うことが可能となり、施設の延命化が図られる。				
2.計画の成果目標達成状況	苦小牧港西港区第3船溜 の係船充足率	最終目標値	66%	目標値と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値	66%(100%)		
	苦小牧港西港区北ふ頭緑 地における来園者数	最終目標値	28,200人	目標値と実績値に 差が出た要因	北ふ頭緑地(キラキラ公園:名前を公募)の完成に伴い、積極的な広報やイベン ト活動の取り組みと、道内外へ旅客船寄港の積極的なPRを行ったため、大幅に 増加した。
		最終実績値	51,800人(184%)		
	苦小牧港西港区における 賑わいのある面積	最終目標値	140,900m <sup>2</sup>	目標値と実績値に 差が出た要因	目標値140,900m <sup>2</sup> の賑わい空間を創出する計画であったが、135,940m <sup>2</sup> と96%に とどまった。 これは、厳しい予算状況の中、優先順位を付けつつ施設整備を推進した結果で あり、未整備部分については平成24年度までの予定を平成26年度までに延長 し、確実に整備を実施していく。
		最終実績値	135,940m <sup>2</sup> (96%)		
	苦小牧港における港湾施 設の長寿命化計画策定数	最終目標値	15件	目標値と実績値に 差が出た要因	
		最終実績値	15件(100%)		

# 苫小牧港計画平面図

計画の名称	苫小牧港西港区における市民や観光客が賑わう環境の形成			
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度	3年間	交付対象	苫小牧港管理組合



## 社会資本総合整備計画 箇所図